

カリキュラム

機構施設名： 岡山県職業能力開発促進センター
 実施機関名： 一般社団法人 香川県中小企業診断士協会

B. 生涯キャリア形成	役割の変化への対応	後輩指導力の向上の強化と中堅・ベテラン従業員の役割
--------------------	------------------	----------------------------------

到達目標	中堅・ベテラン従業員がこれまでに培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する
-------------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1 職場の課題	(1)働く職場の変化 ●時代の変化と共に、我々が働く職場環境が大きく変化していることを認識する。	0.6
		(2)職場の現状把握 ●職場の現状を客観的に、また一部は主観的に捉える中で、現状を認識し、その中で自己の立ち位置を理解する。 <演習> 自らの職場環境を振り返る	0.5
		(3)部下指導における課題 ●職場における部下指導において、困難や大変な面を振り返り、共有化する。 <共有> 部下指導において、日頃悩んでいる事を共有化する	0.4
	2 求められる役割	(4)職務経験と自己分析 ●職務遂行には様々なスキルが必要となること、またそのスキルは会社内での役割によって変わる事を理解する。その上で、これまでに培ってきたスキルを自己評価する。 <演習> スキルの棚卸 ●自分の思考タイプを理解し、自分の思考についてのくせを理解する。思考タイプの違いによって、興味や関心が異なることを理解する。 <演習> 思考タイプ分析	0.8
		(5)中堅・ベテラン従業員に求められる役割と能力 ●中堅・ベテラン社員として、所属の中でどういった役割を担うべきかを確認する。また、会社からの期待を認識する。	0.2
		(6)キャリア形成の方向性 ●今後、会社の中でどういった立場でどういった業務を実施していきたいのかを確認する。 <演習> あなたのキャリアアンカー発見	0.5
	3 ティーチングを活用した指導法	(7)ティーチングの進め方 ●ティーチングとコーチングの違いから、後輩指導におけるティーチングの目的や役割を理解する	0.2
		(8)ティーチングのスキル ●ティーチングをより効果的に進めるための方法を理解する <演習> ティーチングでのよりよい表現方法を考えよう！	0.5
		(9)後輩指導の進め方 ●後輩指導時の留意点を理解し、メンバー間で指導の事例を共有する <共有> 後輩指導でうまくいった事	0.3
	4 コーチングを活用した指導法	(10)コーチングの目的 ●相手を活かすコーチング手法とその目的について理解する	0.2
		(11)コーチの役割 ●コーチ側が理解しておくべき役割を理解する。	0.2
		(12)コーチングの原則 ●コーチングの基本である、傾聴、質問、承認につき、具体的な話法や進め方を含めて説明を行う。 <演習> 職場で発生するケースを設定したコーチング	0.6
		(13)部下育成の振り返り ●ティーチング、コーチングを学んで、今後の部下育成をどう進めて行くべきかを振り返る <共有> 部下育成をどう進めていくべきか	0.5
		(14)職場での実践に向けて ●研修後の、職場における行動目標を作成する中で、自分から変化していく必要がある事を理解する。 <演習> 明日から職場で実施すること(行動計画書の作成)	0.5
合計時間			6.0